

現・第2期教育大綱	第3回総合教育会議(8/24)提示内容	第3回総合教育会議における主なご意見(要旨)	今回提示内容
記載内容	次期大綱における記載案		次期大綱における記載案(素案内容)
<p><b>教育の現状と課題</b></p> <p>現代社会は、科学技術の進歩やグローバル化、少子高齢化の進展等、急速に大きく変化しています。家庭や地域においては、核家族化の進行等により地域社会と家庭や子どもとのかかわりが弱まっており、家庭と地域社会の教育力の向上が大きな課題となっています。</p> <p>学校教育においては、体験を通して学習意欲を高め、知識の活用力やコミュニケーション能力の向上を図る中で、「生きる力」を育むことが求められるとともに、情報教育や外国語教育、環境教育、キャリア教育、食育など、社会の変化に対応する教育が必要となっています。全国学力・学習状況調査結果において、岸和田市では、児童生徒の自己肯定感は徐々に育まれつつありますが、基礎的・基本的学力の定着や活用する力は、全国平均より低く、引き続き課題が見られます。特に、授業において、問題解決型の学習など「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて改善していく必要があります。また、教育現場において、いじめや体罰による重大事案、子どもの安全に関わる事件が全国で相次いでいます。本市では、平成27年(2015年)1月に「岸和田市いじめ防止基本方針」を策定し、市内すべての学校園におけるいじめ問題の未然防止、発生時の組織的な対応の方針を示しました。今後も方針の共有を図り、指導や支援を継続していくことが不可欠です。</p> <p>また、「人生100年時代」といわれる中、市民一人ひとりが、生涯にわたっていきいきと豊かな人生を送れるよう、健康寿命の延伸を含めた生涯学習の環境づくりが求められています。本市では、「岸和田市生涯学習基本方針」や「岸和田市スポーツ推進計画」などに基づき、すべての市民がいきいき学び、活動できる環境づくりを進めているところです。</p> <p>一方で、本市の厳しい財政状況や少子高齢化が長期的に続くことが予想されることから、持続可能な市政運営を行うため、将来予測を立てながら、施設機能の複合化や管理運営の効率化、施設利用者への受益者負担の検討なども行っていきます。</p>	<p><b>教育の現状と課題</b></p> <p>現代社会は、人口減少や少子高齢化の進行、グローバル化やデジタル技術の進展、新たな感染症の流行などにより、急激な社会変化が起きる社会であり、私たちは、将来の予測が困難な時代を迎えています。</p> <p>このような中、国は、今後の教育政策における基本的な考え方として「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイング<sup>※</sup>の向上」を掲げており、これらの実現に向けて様々な取組を進めることとしています。</p> <p>本市の教育を取り巻く現状についてみると、学校教育の観点からは、全国的な調査において児童・生徒の学力や体力の水準が全国平均よりも低い状況が続いています。また、生徒指導上の課題であるいじめや不登校についても、依然として発生している状況が見られ、改善が急務となっています。これらの課題に対応するためには、学校における授業の改善や、児童・生徒の自発的な発達を支える指導など、効果的な取組を、教職員が一丸となって粘り強く進めていく必要があります。</p> <p>生涯学習の観点からは、市民一人ひとりが、生涯にわたっていきいきと豊かな人生を送れるよう、健康寿命の延伸を含めた生涯学習の環境づくりが求められており、様々な学びの活動に加え、スポーツや郷土文化に親しめる環境づくりを引き続き進めていく必要があります。</p> <p>以上のような本市の現状を踏まえ、今後も持続可能で質の高い市政運営を行うため、市長と教育委員会が協力し合って取り組んでいきます。また、本市の厳しい財政状況や少子高齢化のさらなる進展が予想されることから、教育の本質を見据えながら、施設の再編や複合化など、時代に応じた変革を進めていきます。</p> <p>※ウェルビーイング：人が身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むもの</p>	<p>・読点が多く、読みにくい箇所がある。(和田委員) ⇒ <b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b></p> <p>・「いじめや不登校についても、依然として発生している」について、表現が弱いため表現を変更してはどうか。(谷口委員) ⇒ <b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b></p> <p>・「自発的な発達」という表現は一般的に受け入れられるのか。(野口委員) ⇒ <b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b></p> <p>・「～に加え」より「～とともに」という表現が適切ではないか。(大下教育長) ⇒ <b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b></p>	<p><b>教育の現状と課題</b></p> <p>現代社会は、人口減少や少子高齢化の進行、グローバル化やデジタル技術の進展、新たな感染症の流行などにより、急激な社会変化が起きる社会であり、私たちは、将来の予測が困難な時代を迎えています。</p> <p>このような中、国は、今後の教育政策における基本的な考え方として「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイング<sup>※</sup>の向上」を掲げており、これらの実現に向けて様々な取組を進めることとしています。</p> <p>本市の教育を取り巻く現状についてみると、学校教育の観点からは、全国的な調査において児童・生徒の学力や体力の水準が全国平均よりも低い状況が続いています。<b>また、生徒指導の面では、いじめのさらなる認知を進めていくことや、国の水準を上回る不登校と暴力行為の改善が大きな課題となっています。</b>これらの課題に対応するためには、学校における授業の改善や、児童・生徒の自発的な<b>成長・発達</b>を支える指導など、効果的な取組を、教職員が一丸となって粘り強く進めていく必要があります。</p> <p>生涯学習の観点からは、市民一人ひとりが、生涯にわたっていきいきと豊かな人生を送れるよう、健康寿命の延伸を含めた生涯学習の環境づくりが求められており、様々な学びの活動<b>とともに</b>、スポーツや郷土文化に親しめる環境づくりを引き続き進めていく必要があります。</p> <p>以上のような本市の現状を踏まえ、今後も持続可能で質の高い市政運営を行うため、市長と教育委員会が協力し合って取り組んでいきます。また、本市の厳しい財政状況や少子高齢化のさらなる進展が予想されることから、教育の本質を見据えながら、施設の再編や複合化など、時代に応じた変革を進めていきます。</p> <p>※ウェルビーイング：人が身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むもの</p>

現・第2期教育大綱	第3回総合教育会議(8/24)提示内容	第3回総合教育会議における主なご意見 (要旨)	今回提示内容
記載内容	次期大綱における記載案		次期大綱における記載案(素案内容)
<p><b>教育の基本理念</b></p> <p>みんなが輝くまち ～知・徳・体、調和のとれた人づくり～</p> <p>人々が豊かに生きるとき、まちは輝きます。 岸和田の教育は、「知・徳・体、調和のとれた人づくり」を基に、「みんなが輝くまち」を目指します。夢や志を持って自己実現のためにたゆまぬ努力をし、心豊かでたくましく生きる子どもたちや岸和田に愛着と誇りを持って地域社会の形成者として取り組む市民の笑顔であふれるよう、教育の現状と課題を踏まえながら、教育・学術及び文化の振興に関する施策を総合的に推進します。</p>	<p><b>教育の基本理念</b></p> <p>みんなが輝くまち —知・徳・体 調和のとれた人づくり—</p> <p>人々が豊かに生きるとき、まちは輝きます。 岸和田の教育は、「知・徳・体 調和のとれた人づくり」をもとに「みんなが輝くまち」をめざします。夢や志をもって自己実現のためにたゆまぬ努力をし、心豊かでたくましく生きる子どもたちや、岸和田に愛着と誇りをもって地域社会の形成者として取り組む市民の笑顔であふれるよう、教育の現状と課題を踏まえながら、教育・学術及び文化の振興に関する施策を総合的に推進します。</p>		<p><b>教育の基本理念</b></p> <p>みんなが輝くまち —知・徳・体 調和のとれた人づくり—</p> <p>人々が豊かに生きるとき、まちは輝きます。 岸和田の教育は、「知・徳・体 調和のとれた人づくり」をもとに「みんなが輝くまち」をめざします。夢や志をもって自己実現のためにたゆまぬ努力をし、心豊かでたくましく生きる子どもたちや、岸和田に愛着と誇りをもって地域社会の形成者として取り組む市民の笑顔であふれるよう、教育の現状と課題を踏まえながら、教育・学術及び文化の振興に関する施策を総合的に推進します。</p>
<p><b>基本方針1</b></p> <p>家庭や地域、関係機関との密接な連携により、生涯にわたる 人格形成の基礎を培う幼児期の教育の充実を図ります</p>	<p><b>基本方針1 幼児期における教育の充実</b></p> <p>教育・保育施設の魅力を向上させることに加え、関係機関の連携を強化することで、人格形成の基礎を培う幼児期における教育の充実を図ります</p>	<p>・「～に加え」より「～とともに」という表現が適当ではないか。(大下教育長) ⇒ご意見を踏まえ、記載を修正。</p>	<p><b>基本方針1 幼児期における教育の充実</b></p> <p>教育・保育施設の魅力を向上させる<b>とともに</b>、関係機関の連携を強化することで、人格形成の基礎を培う幼児期における教育の充実を図ります</p>
<p><b>① 幼児教育の質の向上及び幼児教育・保育のあり方の検討</b></p> <p>幼児教育の質の向上を図るとともに、0歳から5歳までの就学前の子どもに対する幼児教育・保育のあり方について一体的に検討を進めるとともに、公民を含めた教育・保育施設の再配置を推進します。</p>	<p><b>① 幼稚園への支援の充実と幼保再編の推進</b></p> <p>幼児教育の質を向上させるため、幼稚園に対する支援や指導を充実させます。また、子どもたちに良質な教育・保育環境を提供するため、公民を含めた教育・保育施設の再編を推進します。</p>	<p>・幼稚園に限定せず、認定こども園や保育所を含めた表現に置き換えた方がよい。(和田委員、野口委員) ・「幼児教育の充実」などの表現に置き換えた方がよい。(大下教育長、植原委員) ⇒ご意見を踏まえ、記載を修正。</p>	<p><b>① 幼児教育に関する支援の充実と幼保再編の推進</b></p> <p>幼児教育の質を向上させるため、<b>教育・保育施設</b>に対する支援や指導を充実させます。また、子どもたちに良質な教育・保育環境を提供するため、公民を含めた教育・保育施設の再編を推進します。</p>
<p><b>③ 子育て支援の拡充</b></p> <p>子育てしやすいまち岸和田を実現するため、市民のニーズに対応し、預かり保育などを充実させるとともに、子育て応援部局と連携しながら子育て支援を拡充します。</p>	<p><b>② 子育て支援の実施</b></p> <p>子育てしやすいまちを実現するため、市長部局と教育委員会が連携して、市民のニーズに対応する子育て支援に取り組みます。</p>		<p><b>② 子育て支援の実施</b></p> <p>子育てしやすいまちを実現するため、市長部局と教育委員会が連携して、市民のニーズに対応する子育て支援に取り組みます。</p>
<p><b>② 保幼小の連携の強化</b></p> <p>幼児期から児童期への円滑な移行の観点から、幼稚園と保育所などとの連携を推進するとともに、小学校との連携・接続や一貫教育を進めます。また、私立幼稚園や民間保育園、認定こども園などと小学校との交流や連携を強化します。</p>	<p><b>③ 保・幼・小の連携の強化</b></p> <p>義務教育開始前後の「架け橋期」の教育を充実させるため、保育所・幼稚園・認定こども園と小学校の交流促進など、それぞれの連携を強化します。</p>		<p><b>③ 保・幼・小の連携の強化</b></p> <p>義務教育開始前後の「架け橋期」の教育を充実させるため、保育所・幼稚園・認定こども園と小学校の交流促進など、それぞれの連携を強化します。</p>

現・第2期教育大綱	第3回総合教育会議(8/24)提示内容	第3回総合教育会議における主なご意見 (要旨)	今回提示内容
記載内容	次期大綱における記載案		次期大綱における記載案(素案内容)
<p><b>基本方針2</b></p> <p>児童・生徒一人ひとりに応じた学習を大切に、確かな学力の育成を図ります</p>	<p><b>基本方針2 児童・生徒の「知」の育成</b></p> <p>児童・生徒一人ひとりに応じた学習を大切にすることに加え、関係機関の連携を強化することで、確かな学力の育成を図ります</p>	<p>・「～に加え」より「～とともに」という表現が適切ではないか。(大下教育長) ⇒<b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b></p>	<p><b>基本方針2 児童・生徒の「知」の育成</b></p> <p>児童・生徒一人ひとりに応じた学習を大切にすると<b>ともに</b>、関係機関の連携を強化することで、確かな学力の育成を図ります</p>
<p><b>① 基礎的・基本的な学力の定着</b></p> <p>児童・生徒一人ひとりが生きる力の基盤として、基礎的・基本的な知識や技能を習得できるよう、それぞれの児童・生徒に応じたきめ細かな指導を充実させるとともに、確かな学力の育成を図ります。</p>	<p><b>① 基礎的・基本的な学力の定着</b></p> <p>児童・生徒が生きる力の基盤となる知識や技能を習得できるようにするため、学校と家庭が協力するとともに、一人ひとりに応じた個別最適な学び<sup>※</sup>と協働的な学び<sup>※</sup>を充実させます。</p> <p>※個別最適な学び:一人ひとりの特性や学習進度などに応じて、指導方法や教材、学習に取り組む機会などを提供し、児童・生徒の主体的で深い学びにつなげる取組のこと</p> <p>※協働的な学び:探究的な学習や体験活動などを通じ、子ども同士や地域の人々など多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう資質・能力を育成すること</p>		<p><b>① 基礎的・基本的な学力の定着</b></p> <p>児童・生徒が生きる力の基盤となる知識や技能を習得できるようにするため、学校と家庭が協力するとともに、一人ひとりに応じた個別最適な学び<sup>※</sup>と協働的な学び<sup>※</sup>を充実させます。</p> <p>※個別最適な学び:一人ひとりの特性や学習進度などに応じて、指導方法や教材、学習に取り組む機会などを提供し、児童・生徒の主体的で深い学びにつなげる取組のこと</p> <p>※協働的な学び:探究的な学習や体験活動などを通じ、子ども同士や地域の人々など多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう資質・能力を育成すること</p>
<p><b>② 活用する力の育成</b></p> <p>児童・生徒一人ひとりの知識や技能を意欲的に活用する力を育めるよう、思考力、判断力、表現力などを育てる体験的な学習や問題解決的な学習、ICTを活用した指導を充実させるとともに、確かな学力の向上を図ります。</p>	<p><b>② 活用する力の育成</b></p> <p>児童・生徒がこれからの社会に求められる資質・能力(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力など)を身につけられるようにするため、1人1台端末などを活用した指導を推進します。</p>		<p><b>② 活用する力の育成</b></p> <p>児童・生徒がこれからの社会で求められる資質・能力(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力など)を身に<b>付けられる</b>ようにするため、<b>探究的な学習<sup>※</sup>を充実させるとともに、1人1台端末</b>を活用した指導を推進します。</p> <p>※探究的な学習:児童・生徒自らが課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析したり、周囲の人と意見交換・協働したりしながら進めていく学習活動のこと</p>
<p><b>③ 特別支援教育の充実</b></p> <p>障がいのある子どもたちの自立や社会参加に必要な力を培えるよう、就学前から就労までを見通した適切な指導や切れ目のない支援を行い、「ともに学び、ともに育つ」教育を充実させます。</p>	<p><b>③ 特別支援教育の充実</b></p> <p>障がいのある子どもたちが自立し、社会参加に必要な力を培えるようにするため、就学前から就労までを見通した指導や切れ目のない支援を充実させます。</p>	<p>・「ともに学び、ともに育つ」という文言を記載すべきではないか。(大下教育長、和田委員) ⇒<b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b></p>	<p><b>③ 特別支援教育の充実</b></p> <p>障がいのある子どもたちが自立し、社会参加に必要な力を培えるようにするため、就学前から就労までを見通した指導や切れ目のない支援を<b>行い、「ともに学び、ともに育つ」教育</b>を充実させます。</p>

現・第2期教育大綱	第3回総合教育会議(8/24)提示内容	第3回総合教育会議における主なご意見 (要旨)	今回提示内容
記載内容	次期大綱における記載案		次期大綱における記載案(素案内容)
<b>④ 小中の連携</b> 発達段階に応じた学習や円滑な移行を重視した教育を行うため、小学校と中学校のさらなる連携や一貫教育などを推進します。	<b>④ 小中一貫教育の推進</b> 確かな学力の定着や生徒指導上の諸課題の解消を図るため、義務教育9年間の系統性と連続性を配慮した教育活動の展開など、小中一貫教育を推進します。		<b>④ 小中一貫教育の推進</b> 確かな学力の定着や生徒指導上の諸課題の解消を図るため、義務教育9年間の系統性と連続性を配慮した教育活動の展開など、小中一貫教育を推進します。
<b>⑤ 専門教育の充実</b> 将来的に地域社会に貢献する人材を育成するため、岸和田市立産業高等学校において、産業教育審議会の審議を通じて、時代に応じた専門教育や産業教育を充実させます。	<b>⑤ 専門教育の充実</b> 地域社会に貢献する人材を育成するため、市立産業高等学校において時代に応じた専門教育や産業教育を充実させます。		<b>⑤ 専門教育の充実</b> 地域社会に貢献する人材を育成するため、市立産業高等学校において時代に応じた専門教育や産業教育を充実させます。
<b>基本方針3</b> 児童・生徒一人ひとりが自他を尊重し、社会の一員として成長できるよう、豊かな心の育成を図ります	<b>基本方針3 児童・生徒の「徳」の育成</b> 児童・生徒一人ひとりが自他を尊重し、社会の一員として成長できる環境を整えることで、豊かな心の育成を図ります		<b>基本方針3 児童・生徒の「徳」の育成</b> 児童・生徒一人ひとりが自他を尊重し、社会の一員として成長できる環境を整えることで、豊かな心の育成を図ります
<b>① 人権教育の充実</b> 児童・生徒の人権に対する正しい理解や感覚を向上させるため、教育活動全体を通じて、あらゆる人権問題について人権尊重の教育を効果的に実施します。	<b>① 人権教育・平和教育の推進</b> 児童・生徒が人権や平和に関して正しい理解を深めるため、教育活動全体を通じて、人権や平和を尊重する教育を推進します。	・「深める」と「深められる」という表現を可能な限り統一する方がよい。(野口委員) ⇒ <b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b>	<b>① 人権教育・平和教育の推進</b> 児童・生徒の <b>人権</b> や平和に <b>関する</b> 正しい理解を深めるため、教育活動全体を通じて、人権や平和を尊重する教育を推進します。
<b>② 道徳教育の充実</b> 「特別の教科 道徳」を中心に教育活動全体を通じて、考え議論することで、児童・生徒の心情や判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うとともに、豊かな人間性や社会性を育めるよう、家庭や地域と連携しながら道徳教育を充実させます。	<b>② 道徳教育の推進</b> 児童・生徒に豊かな人間性や社会性、道徳性を育むため、児童・生徒自らが考え議論する機会を充実させるとともに、家庭や地域との連携を推進します。		<b>② 道徳教育の推進</b> 児童・生徒の <b>豊かな人間性</b> や <b>社会性</b> 、道徳性を育むため、児童・生徒自らが考え議論する機会を充実させるとともに、家庭や地域との連携を推進します。
<b>③ 生徒指導の充実</b> 児童・生徒一人ひとりが自己の存在感を確立できるよう、児童・生徒と教職員の信頼関係をより一層深め、心の通う指導を充実させます。特に、不登校や暴力行為、情報化社会の持つ課題への対応を重視した体制と関係機関との連携を強化します。	<b>③ 生徒指導の推進</b> 児童・生徒が社会の中で自分らしく生きることができるよう存在へと成長できるようにするため、児童・生徒の自発的な発達を支えるとともに、様々な課題(いじめや非行など)の未然防止のための取組を推進します。	・「自発的な発達」という表現は一般的に受け入れられるのか。(野口委員) ⇒ <b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b>	<b>③ 生徒指導の推進</b> 児童・生徒が社会の中で自分らしく生きることができるよう存在へと成長できるようにするため、児童・生徒の自発的な <b>成長</b> ・発達を支えるとともに、様々な課題(いじめや非行など)の未然防止のための取組を推進します。

現・第2期教育大綱	第3回総合教育会議(8/24)提示内容	第3回総合教育会議における主なご意見 (要旨)	今回提示内容
記載内容	次期大綱における記載案		次期大綱における記載案(素案内容)
<p><b>④ いじめの防止と解決</b></p> <p>学校園でのいじめを未然に防止し、早期発見と適切な対処を行い、再発を防止するため、岸和田市いじめ防止基本方針に基づき対策を講じます。</p>	<p><b>④ いじめの防止と解決</b></p> <p>いじめを未然に防止するため、岸和田市いじめ防止基本方針に基づき対策を講じます。また、実際にいじめが生じた際には、早期からの組織的対応や関係機関との連携により解決を図ります。</p>		<p><b>④ いじめの防止と解決</b></p> <p>いじめを未然に防止するため、岸和田市いじめ防止基本方針に基づき対策を講じます。また、実際にいじめが生じた際には、早期からの組織的対応や関係機関との連携により解決を図ります。</p>
<p><b>⑤ 国際性を育む教育</b></p> <p>外国語教育を中心に、自分の意思をしっかりと表現する能力を高めるとともに、児童・生徒が岸和田と我が国の伝統や文化を尊重し、諸外国の異なる習慣や文化などについての理解を深め、国際交流団体などと連携して、相互理解を深める取組みを充実させます。</p>	<p><b>⑤ 国際性を育む教育の充実</b></p> <p>児童・生徒の外国語によるコミュニケーション能力を向上させるため、英語教育を充実させます。また、諸外国の異なる習慣や文化などを尊重できるようにするため、相互理解を深める取組を充実させます。</p>	<p>・後段において「郷土や我が国の伝統文化」についても触れることが必要ではないか。(大下教育長) ⇒<b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b></p>	<p><b>⑤ 国際性を育む教育の充実</b></p> <p>児童・生徒の外国語によるコミュニケーション能力を向上させるため、英語教育を充実させます。また、<b>児童・生徒が郷土や我が国への伝統文化への理解を深めるとともに、諸外国の異なる習慣や文化などを尊重できるようにするため、相互理解を深める取組を充実させます。</b></p>
<p><b>⑥ 夢や志を育むキャリア教育</b></p> <p>望ましい勤労観や職業観を育み、社会的な自立に向けて自己の可能性を伸ばせるよう、発達の段階に応じた系統的な指導や主体的な進路選択を促す指導などを行い、キャリア教育を充実させます。</p>	<p><b>⑥ 夢や志を育むキャリア教育の推進</b></p> <p>児童・生徒に地域社会の担い手としての意識を育み、将来、社会的・職業的に自立できるようにするため、発達段階に応じた指導や主体的な進路選択を促す指導を推進します。</p>	<p>・「将来にわたって自分らしい生き方を」という文言に置き換えてはどうか。(大下教育長) ⇒<b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b></p>	<p><b>⑥ 夢や志を育むキャリア教育の推進</b></p> <p>児童・生徒が<b>地域社会の担い手としての意識を育み、将来にわたって自分らしい生き方を実現できるようにするため、発達段階に応じた指導や主体的な進路選択を促す指導を推進します。</b></p>
<p><b>⑦ 主権者教育や消費者教育の推進</b></p> <p>社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら社会を生き抜く力やさまざまな地域の課題解決やまちづくりを主体的に担う力を身に付けられるよう、主権者教育を充実させます。また、消費者として主体的に判断し、責任をもって行動できるよう、消費者教育の促進を図ります。</p>	<p><b>⑦ 主権者教育・消費者教育の充実</b></p> <p>児童・生徒がまちづくりを主体的に担う力を身に付けられるようにするため、主権者教育を充実させます。また、消費者として適切に判断し、責任をもって行動できるようにするため、消費者教育を充実させます。</p>	<p>・「まちづくり」という表現では限定的に捉えられてしまうのではないか。(和田委員)</p> <p>・「まちづくり」を「社会」に言い換えてはどうか。(大下教育長)</p> <p>⇒<b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b></p>	<p><b>⑦ 主権者教育・消費者教育の充実</b></p> <p>児童・生徒が<b>社会</b>を主体的に担う力を身に付けられるようにするため、主権者教育を充実させます。また、消費者として適切に判断し、責任をもって行動できるようにするため、消費者教育を充実させます。</p>
<p><b>基本方針4</b></p> <p>食生活や基本的生活習慣等における学校と家庭、地域との連携を充実させ、児童・生徒の健やかな体の育成を図ります</p>	<p><b>基本方針4 児童・生徒の「体」の育成</b></p> <p>児童・生徒一人ひとりが望ましい基本的生活習慣を身に付けることに加え、運動に親しめる環境を整えることで、健やかな体の育成を図ります</p>	<p>・「家庭」「地域」という文言を入れるべきではないか。(谷口委員)</p> <p>・「～に加え」より「～とともに」という表現が適切ではないか。(大下教育長)</p> <p>⇒<b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b></p>	<p><b>基本方針4 児童・生徒の「体」の育成</b></p> <p>児童・生徒一人ひとりが望ましい基本的生活習慣を身に付ける<b>とともに、運動に親しめる環境を家庭や地域と連携して</b>整えることで、健やかな体の育成を図ります</p>

現・第2期教育大綱	第3回総合教育会議(8/24)提示内容	第3回総合教育会議における主なご意見 (要旨)	今回提示内容
記載内容	次期大綱における記載案		次期大綱における記載案(素案内容)
<p><b>① 学校給食、食育の充実</b></p> <p>児童・生徒の栄養補完や家庭の子育てを支援するため、栄養バランスのとれた安心・安全な給食を提供します。また、学校給食を生きた教材として活用し、食生活や地産地消、郷土の食文化を含めた食に関する指導を充実させます。</p>	<p><b>① 学校給食・食育の充実</b></p> <p>児童・生徒の栄養補完や家庭の子育てを支援するため、栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供します。また、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけられるようにするため、教育活動全体を通じて、食に関する指導を充実させます。</p>		<p><b>① 学校給食・食育の充実</b></p> <p>児童・生徒の栄養補完や家庭の子育てを支援するため、栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供します。また、<b>児童・生徒が</b>食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に<b>付</b>けられるようにするため、教育活動全体を通じて、食に関する指導を充実させます。</p>
<p><b>② 健康管理の充実</b></p> <p>児童・生徒の心身の健康を保持し、増進させるため、学校や家庭、学校医、地域の医療機関などの関係機関と連携し、基本的な生活習慣に関する指導や健康管理などを充実させます。</p>	<p><b>② 健康管理の充実</b></p> <p>児童・生徒の心身の健康を保持・増進させるため、関係機関と連携し、基本的な生活習慣に関する指導や健康管理などを充実させます。</p>		<p><b>② 健康管理の充実</b></p> <p>児童・生徒の心身の健康を保持・増進させるため、関係機関と連携し、基本的な生活習慣に関する指導や健康管理などを充実させます。</p>
<p><b>③ 体力の向上</b></p> <p>児童・生徒の体力を向上させるため、保健や体育に関する授業を中心に学校教育活動全体で積極的な取り組みを行うとともに、家庭や地域でも運動に親しむ習慣を身につけられるよう指導を充実させます。</p>	<p><b>③ 体力の向上</b></p> <p>児童・生徒の体力を向上させるため、体育の授業を中心に積極的な取り組みを行います。また、家庭や地域においても、運動に親しむ習慣を身につけられる指導を充実させます。</p>		<p><b>③ 体力の向上</b></p> <p>児童・生徒の体力を向上させるため、体育の授業を中心に積極的な取り組みを行います。また、家庭や地域においても、運動に親しむ習慣を身に<b>付</b>けられる指導を充実させます。</p>
<p><b>基本方針5</b></p> <p>子どもたちの安心・安全を最優先に考え、保護者や地域に信頼される学校園づくりを推進します</p>	<p><b>基本方針5 信頼される学校園づくり</b></p> <p>子どもたちの安全・安心を最優先に考え取り組むことで、保護者や地域に信頼される学校園づくりを進めます</p>		<p><b>基本方針5 信頼される学校園づくり</b></p> <p>子どもたちの安全・安心を最優先に考え取り組むことで、保護者や地域に信頼される学校園づくりを進めます</p>
<p><b>① 子どもたちの安全確保</b></p> <p>子どもたちの安全を確保するため、地域や関係機関と連携し、子どもたちの見守り活動や安全管理体制を強化するとともに、安全教育や防災教育を充実させます。</p>	<p><b>① 子どもたちの安全確保の推進</b></p> <p>(変更なし)</p>		<p><b>① 子どもたちの安全確保の推進</b></p> <p>(変更なし)</p>
<p><b>② 安心・安全で快適な学校園</b></p> <p>施設の非構造部材の耐震化や防災機能を強化するなど安心・安全で快適な学校園づくりを行います。また、関係機関との連携を強化し、通学路や通園路の安全確保に取り組みます。</p>	<p><b>② 安全・安心で快適な学校園づくり</b></p> <p>安全・安心で快適な学校園を実現するため、通学路や通園路を含め、ハード・ソフトの両面から取組を推進します。</p>		<p><b>② 安全・安心で快適な学校園づくり</b></p> <p>安全・安心で快適な学校園を実現するため、通学路や通園路を含め、ハード・ソフトの両面から取組を推進します。</p>

現・第2期教育大綱	第3回総合教育会議(8/24)提示内容	第3回総合教育会議における主なご意見 (要旨)	今回提示内容
記載内容	次期大綱における記載案		次期大綱における記載案(素案内容)
<p><b>③ 学校園の適正規模・適正配置の推進</b></p> <p>教育環境の充実の観点から、公共施設のあり方を踏まえながら、学校園の適正規模・適正配置を推進します。</p>	<p><b>③ 学校の適正規模・適正配置の推進</b></p> <p>児童・生徒にとってより良い教育環境の整備と学校教育の充実を図るため、公共施設のあり方を踏まえながら、学校の適正規模・適正配置を推進します。</p>		<p><b>③ 学校の適正規模・適正配置の推進</b></p> <p>児童・生徒にとってより良い教育環境の整備と学校教育の充実を図るため、公共施設のあり方を踏まえながら、学校の適正規模・適正配置を推進します。</p>
<p><b>④ 学びのセーフティネット</b></p> <p>家庭の経済的、環境的な理由によって子どもたちに教育格差が生じないよう、教育の機会均等を保障するため、関係機関と連携し、保護者を支援します。</p>	<p><b>④ 学びのセーフティネットの実施</b></p> <p>児童・生徒の教育の機会均等を保障するため、関係機関と連携し、経済的負担の軽減など、保護者に対する支援を行います。</p>		<p><b>④ 学びのセーフティネットの実施</b></p> <p>児童・生徒の教育の機会均等を保障するため、関係機関と連携し、経済的負担の軽減など、保護者に対する支援を行います。</p>
<p><b>⑤ 教職員の指導力の向上</b></p> <p>子どもたちの豊かな人間性や社会性を育めるよう、教職員が教育者としての誇りと使命感、高い専門性による実践的な指導力を向上させるため、研修などの支援体制を充実させます。</p>	<p><b>⑤ 教職員の指導力の向上</b></p> <p>児童・生徒の人間性や社会性、これからの社会に求められる資質・能力を育み、子どもたちの強みをさらに伸ばすため、教職員の専門的かつ実践的な指導力を養う研修の開催など、支援を充実させます。</p>		<p><b>⑤ 教職員の指導力の向上</b></p> <p>児童・生徒の人間性や社会性、これからの社会で求められる資質・能力を育み、子どもたちの強みをさらに伸ばすため、教職員の専門的かつ実践的な指導力を養う研修の開催など、支援を充実させます。</p>
<p><b>⑥ 教員の業務負担軽減</b></p> <p>教員が児童生徒と向き合う時間を確保し、学級・学校運営の改善等を図るとともに、教員の業務負担の軽減策について検討します。</p>	<p><b>⑥ 教員の業務負担軽減の推進</b></p> <p>教員が児童・生徒と向き合う時間を確保し、学級・学校運営の改善などを行うとともに、教員の働き方改革を進めるため、部活動の地域への移行など、教員の業務負担を軽減する取組を推進します。</p>	<p>・的確な表現とするため「教員の働き方改革を進める」の位置を変更すべきではないか。(大下教育長) ⇒<b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b></p> <p>・「部活動の地域移行」について記載しておくべきではないか。(大下教育長、野口委員) ⇒<b>令和5～7年が改革集中期間であることを踏まえ、大綱における記載は削除。</b></p>	<p><b>⑥ 教員の業務負担軽減の推進</b></p> <p>教員の児童・生徒と向き合う時間を確保し、学級・学校運営の改善を図る<b>教員の働き方改革</b>を進めるため、<b>教員の業務負担を軽減する取組を推進します。</b></p>
<p><b>⑦ 地域に開かれた学校園づくり</b></p> <p>学校園と家庭や地域とが相互に連携し、協力し合うため、地域によりいっそう開かれた学校園づくりを行います。</p>	<p><b>⑦ 地域に開かれた学校園づくり</b></p> <p>学校園と家庭・地域が協力し、教育活動や学校運営の改善を図るため、地域によりいっそう開かれた学校園づくりを行います。</p>	<p>・的確な表現とするため「学校園と家庭・地域が協力し」の位置を変更すべきではないか。(野口委員) ⇒<b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b></p>	<p><b>⑦ 地域に開かれた学校園づくり</b></p> <p>教育活動や学校運営の改善を図るため、<b>学校園と家庭・地域が連携し、</b>地域によりいっそう開かれた学校園づくりを行います。</p>

現・第2期教育大綱	第3回総合教育会議(8/24)提示内容	第3回総合教育会議における主なご意見 (要旨)	今回提示内容
記載内容	次期大綱における記載案		次期大綱における記載案(素案内容)
<b>基本方針6</b> 市民一人ひとりが自己を高め、ともに育ちあう人づくりを進めるとともに、地域住民の連携を深め、地域の活力や教育力の向上を図ります	<b>基本方針6 地域の活力と教育力の向上</b> 市民一人ひとりが自己を高め、ともに育つ環境づくりを進めることに加え、地域住民の連携を深めることで、地域の活力や教育力の向上を図ります	・「～に加え」より「～とともに」という表現が適切ではないか。(大下教育長) ⇒ご意見を踏まえ、記載を修正。	<b>基本方針6 家庭と地域の活力・教育力の向上</b> 市民一人ひとりが自己を高め、ともに育つことができる環境づくりを進めるとともに、地域住民の連携を深めることで、家庭と地域の活力・教育力の向上を図ります
<b>① 家庭教育支援の充実</b> 子どもたちの倫理観や規範性を高められるよう、すべての教育の原点である家庭の教育力を向上させるため、家庭教育の支援を充実させます。	<b>① 家庭教育に対する支援の充実</b> 子どもたちの倫理観や規範性を高めるため、家庭教育に対する支援を充実させます。	・多様性が尊重される社会において「倫理観や規範性」という言葉を使用すると、子どもを型にはめることにならないか。(和田委員) ⇒ご意見を踏まえ、倫理観をはじめ様々なものを含んだ表現として「あらゆる教育の原点である家庭の教育力を向上させる」に修正(現行の表現を踏襲)	<b>① 家庭教育に対する支援の充実</b> あらゆる教育の原点である家庭の教育力を向上させるため、家庭教育に対する支援を充実させます。
<b>② 青少年の健全育成</b> 青少年の健やかな心身の成長を促し、生きる力を育めるよう、自然やスポーツ、文化など様々な分野と連携を図りながら、体験活動や学習機会などを充実させます。	<b>② 青少年の健全育成</b> 青少年の健やかな心身の成長を促し、生きる力を育むため、様々な分野と連携を図りながら、体験活動や学習機会などを充実させます。		<b>② 青少年の健全育成</b> 青少年の健やかな心身の成長を促し、生きる力を育むため、様々な分野と連携を図りながら、体験活動や学習機会などを充実させます。
<b>③ 市民の人権意識の向上</b> 市民が人権に対する正しい理解と認識を深め、豊かな人権感覚を身につけられるよう、啓発を継続的に進めます。	<b>③ 市民の人権意識の向上</b> 市民が人権に対する正しい理解と認識を深め、豊かな人権感覚を身につけられるようにするため、継続的な啓発を行います。		<b>③ 市民の人権意識の向上</b> 市民が人権に対する正しい理解と認識を深め、豊かな人権感覚を身に付けられるようにするため、継続的な啓発を行います。
<b>④ 大学等との連携</b> 学校教育活動の充実や生涯学習活動の支援など教育上の諸課題に適切に対応するため、大学等と相互に連携し、協力し合います。	<b>④ 大学などとの連携の強化</b> 教育上の諸課題に適切に対応するため、大学などと相互に協力し、連携を深めます。	・「生涯学習」という表現を残しておくべきではないか。(大下教育長) ⇒ご意見を踏まえ、記載を修正。	<b>④ 大学などとの連携の強化</b> 学校教育活動の充実や生涯学習活動の支援など、教育上の諸課題に適切に対応するため、大学などと相互に協力し、連携を深めます。
<b>⑤ 連携と参画による地域づくり</b> 市民参画によるコミュニティづくりを進めるため、家庭や学校、地域の連携を深めるとともに、市民自らの学習の成果を地域活動などに発揮できるよう支援します。あわせて、学校施設を地域のコミュニティの拠点等として活用するため、複合化を検討し、学校教育と社会教育が連携するための環境を充実させます。	<b>⑤ 連携と参画による地域づくり</b> 市民参画によるコミュニティづくりを進めるため、市民自らの学習の成果を地域活動などに発揮できるよう支援します。また、学校施設を有効活用するため、複合化を検討するとともに、学校教育と社会教育が連携するための環境を充実させます。	・「部活動の地域移行」について記載しておくべきではないか。(大下教育長、野口委員) ⇒令和5～7年が改革集中期間であることを踏まえ、大綱における記載は見送る。	<b>⑤ 連携と参画による地域づくり</b> 市民参画によるコミュニティづくりを進めるため、市民自らの学習の成果を地域活動などに発揮できるよう支援します。また、学校施設を有効活用するため、複合化を検討するとともに、学校教育と社会教育が連携するための環境を充実させます。

現・第2期教育大綱	第3回総合教育会議(8/24)提示内容	第3回総合教育会議における主なご意見 (要旨)	今回提示内容
記載内容	次期大綱における記載案		次期大綱における記載案(素案内容)
<b>基本方針7</b> 市民が健康寿命を延ばし、生涯にわたり、心身の健康と生きがいや安らぎを持った人生が送れるよう、生涯学習環境の整備を図ります	<b>基本方針7 生涯学習の環境づくり</b> 市民一人ひとりが学習や読書、スポーツに親しむ機会や場を整えることで、生涯にわたる生きがいや健康につながる生涯学習の環境づくりを進めます		<b>基本方針7 生涯学習の環境づくり</b> <b>学習や読書、スポーツに関する</b> 機会や場を整えることで、 <b>市民一人ひとりの</b> 生涯にわたる生きがいや健康につながる生涯学習の環境づくりを進めます
<b>① 生涯学習推進体制の整備</b> 市民が社会の中で自立し、地域の課題解決を主体的に担う力を養えるよう、あらゆる分野の施策を関連づけ、体系化して総合的に進めるため、全市的な協力体制を強化します。	<b>① 生涯学習推進体制の強化</b> 市民が社会の中で自立し、地域の課題解決を主体的に担う力を養えるようにするため、生涯学習の推進に向けた協力体制を強化します。	・「強化」という表現を見直すべきではないか。(植原委員、野口委員) ⇒ <b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b>	<b>① 生涯学習推進体制の充実</b> 市民が社会の中で自立し、地域の課題解決を主体的に担う力を養えるようにするため、生涯学習の推進に向けた協力体制を <b>充実させ</b> ます。
<b>② 学習機会の拡充</b> 市民の生涯学習と市民活動を支援するため、市立公民館等を拠点とした生涯学習施設のネットワーク化と、様々な立場の人たちとの連携と協働による社会的ネットワークを構築し、学習機会や交流の場を充実させます。また、持続可能な社会づくりを進めるため、現代的・社会的な課題に対応した学習等を充実させます。	<b>② 学習機会の充実</b> あらゆる市民の生涯学習と市民活動を支援するため、生涯学習施設のネットワーク化と再編を進めるとともに、多様な人々の連携と協働による社会的ネットワークを構築し、学習機会や交流の場を充実させます。また、持続可能な社会づくりを進めるため、すべての世代のデジタルリテラシー <sup>※</sup> 向上を行うなど、現代的・社会的な課題に対応した学習を充実させます。 <small>※デジタルリテラシー:リスクを含めデジタル技術を適切に理解し、それを有効活用できる能力のこと</small>		<b>② 学習機会の充実</b> あらゆる市民の生涯学習と市民活動を支援するため、生涯学習施設のネットワーク化と再編を進めるとともに、多様な人々の連携と協働による社会的ネットワークを構築し、学習機会や交流の場を充実させます。また、持続可能な社会づくりを進めるため、すべての世代のデジタルリテラシー <sup>※</sup> 向上を行うなど、現代的・社会的な課題に対応した学習を充実させます。 <small>※デジタルリテラシー:リスクを含めデジタル技術を適切に理解し、それを有効活用できる能力のこと</small>
<b>③ 読書に親しむ環境づくり</b> 誰もが読書に親しめる環境をつくるため、利用しやすい図書館サービスの提供と施設の整備を進めます。特に、子どもたちが発達段階に応じて読書に親しめるよう、関係機関と連携して環境を充実させます。	<b>③ 読書に親しむ環境づくり</b> 誰もが読書に親しめる環境をつくるため、利用しやすい図書館サービスを提供します。また、昨今の社会変化に伴って変容する図書館に求められる役割やニーズを踏まえ、新しい図書館づくりについてさらに検討を進めます。		<b>③ 読書に親しむ環境づくり</b> 誰もが読書に親しめる環境をつくるため、利用しやすい図書館サービスを提供します。また、昨今の社会変化に伴って変容する図書館に求められる役割やニーズを踏まえ、新しい図書館づくりについてさらに検討を進めます。
<b>④ スポーツに親しむ環境づくり</b> 多くの市民が年齢や体力、技能レベルなどに応じたスポーツに親しみ、いきいきと健康で活力ある生活を送れるよう、関係機関と連携し、協働しながら様々な機会や場を充実させます。	<b>④ スポーツに親しむ環境づくり</b> 市民がいきいきと健康で活力ある生活を送れるようにするため、関係機関と連携し、スポーツに親しむ様々な機会や場を充実させます。また、将来にわたって求められる機能を提供できるようにするため、体育館や市民プールなどの社会体育施設の再編を推進します。		<b>④ スポーツに親しむ環境づくり</b> 市民がいきいきと健康で活力ある生活を送れるようにするため、関係機関と連携し、スポーツに親しむ様々な機会や場を充実させます。また、将来にわたって求められる機能を提供できるようにするため、体育館や市民プールなどの社会体育施設の再編を推進します。

現・第2期教育大綱	第3回総合教育会議(8/24)提示内容	第3回総合教育会議における主なご意見 (要旨)	今回提示内容
記載内容	次期大綱における記載案		次期大綱における記載案(素案内容)
<b>⑤ 学習のための情報提供</b> より多くの市民が学習活動を行えるよう、市の各部局をはじめ他の公共団体や公共機関、NPO法人などの学習事業の情報を効果的に提供します。	<b>⑤ 学習のための情報提供</b> より多くの市民が学習活動を行えるようにするため、市の各部局をはじめ他の公共団体や公共機関、NPO法人などの学習事業の情報を効果的に提供します。		<b>⑤ 学習のための情報提供</b> より多くの市民が学習活動を行えるようにするため、市の各部局をはじめ他の公共団体や公共機関、NPO法人などの学習事業の情報を効果的に提供します。
<b>基本方針8</b> 岸和田への誇りと愛着を育むため、郷土の文化財や自然に対する市民の理解や関心を深め、その保護や活用に努めます	<b>基本方針8 豊かな郷土愛の育成</b> 市民一人ひとりが郷土文化や自然に対する理解を深められる機会を提供することに加え、その保護や活用を行うことで、豊かな郷土愛の育成を図ります	・「～に加え」より「～とともに」という表現が適切ではないか。(大下教育長) ⇒ <b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b>	<b>基本方針8 豊かな郷土愛の育成</b> 市民一人ひとりの郷土文化や自然に対する理解を <b>深める</b> 機会を提供する <b>とともに</b> 、その保護や活用を行うことで、豊かな郷土愛の育成を図ります
<b>① 文化財の保護と郷土資料の活用</b> 市民が郷土文化への理解を深められるよう、身近に残る文化財や郷土資料を再発見し、その保存と活用に取り組めます。	<b>① 文化財と郷土資料の保存・活用</b> 市民が郷土文化への理解を深められるようにするため、身近に残る文化財や郷土資料の保存と活用に取り組めます。	・「深める」と「深められる」という表現を可能な限り統一する方がよい。(野口委員) ⇒ <b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b>	<b>① 文化財と郷土資料の保存・活用</b> <b>市民の郷土文化に関する</b> 理解を <b>深める</b> ため、身近に残る文化財や郷土資料の保存と活用に取り組めます。
<b>② 身近な自然の保護と啓発</b> 市民が自然保護と生物多様性への理解を深められるよう、関係機関と連携し、身近な自然の多様さを学ぶ機会を充実させます。	<b>② 自然を学ぶ機会の充実</b> 市民が自然保護と生物多様性への理解を深められるようにするため、関係機関と連携し、身近な自然の多様さを学ぶ機会を充実させます。	・「深める」と「深められる」という表現を可能な限り統一する方がよい。(野口委員) ⇒ <b>ご意見を踏まえ、記載を修正。</b>	<b>② 自然を学ぶ機会の充実</b> <b>市民の自然保護と生物多様性に関する</b> 理解を <b>深める</b> ため、関係機関と連携し、身近な自然の多様さを学ぶ機会を充実させます。
<b>③ 郷土愛の育成</b> 郷土岸和田の歴史や文化、伝統、風土を愛し、次世代へ継承していくため、ふるさと学習やふるさと教育に取り組めます。また、市民が郷土の魅力を見出す機会として、観光部局などと連携し、郷土資源を活用します。	<b>③ 郷土愛の育成</b> 市民が郷土岸和田の歴史や文化、伝統、風土を愛し、次世代へ継承していくため、ふるさと教育を推進するとともに、観光分野における活用を含め、郷土資源のさらなる活用を推進します。		<b>③ 郷土愛の育成</b> <b>市民の岸和田の歴史や文化、伝統、風土に関する郷土愛を</b> 育み、次世代へ <b>と</b> 継承していくため、ふるさと教育を推進するとともに、観光分野における活用を含め、郷土資源のさらなる活用を推進します。